



日本原子力研究開発機構核融合研究開発部門

1. 原型炉ワークショップ、事業委員会の開催

1月28-30日に日欧の参加者による第2回核融合原型炉に関するワークショップが東京で開かれ、原型炉の概念設計及び研究開発の進展についての報告と、IFERCの事業計画や2008年作業計画に基づく活動についての検討が行われた。特に、今後予想されるEUでの活動や日本の大学と機構との共同研究／協力研究を通じた活動についても紹介され、議論された。

2月28-29日に、第2回のIFERC事業委員会が原子力機構の東京事務所で開催され、事業の全体概要として、2007年の年次報告、事業計画、2008年作業予定等が議論された。また、今回の事業委員会では昨年秋の運営委員会の命を受けて、核融合シミュレーションセンターへ導入するスーパーコンピューターとそのベンチマークコード選定のための特別作業グループの設立についての勧告も取り纏められた。

3月27-28日に第2回のIFMIF/EVEDA事業委員会が原子力機構の青森研究開発センターで開催され、事業の全体概要として、IFMIF/EVEDA事業委員会及びBA運営委員会からの勧告への実施対応状況やサイト準備の現状、2007年の年次報告、事業計画、2008年作業予定等が議論された。特に欧州側から提案のある加速管(DTL)の超伝導オプションについては、状況の説明や評価作業グループの報告を聴取し、議論された。その結果、今後超伝導オプションの可否についての判断を行うのに必要な情報(超伝導オプションのメリット、実現可能性、コストやスケジュールへの影響等)を分析、検討し、BA運営委員会へ報告することとなった。

2. 六ヶ所BAサイトの準備状況等

六ヶ所BAサイトの建屋実施設計が終わり、1月から2月にかけて建築確認申請手続きを行った。また、それぞれの建家の建設工事の契約手続きが現在行われており、20年度初頭に工事が着工される予定である。工事の予定としては、管理研究棟が平成20年度中に、他の研究施設については平成21年度中に竣工する予定である。

また、今年に入ってから、日欧協議の対象になっている建家の建設工事や原型炉に関する緊急の研究開発タスクの調達取り決めについては、日本及びEUの実施機関とそれぞれの事業長の三者の調印がなされた。

IFMIF/EVEDA事業の事業チームの品質管理担当者としてCEAのジェローム・アルノー(Jerome Arnaud)氏が来日し六ヶ所に赴任した。



図1 IFMIF/EVEDA事業委員会。
(平成20年3月27日、原子力機構青森研究開発センターにて)